

# 自衛隊の南スーダン派兵を許すな!

## 1.29 防衛省行動

野田政権は、11月1日に陸自施設部隊300人の南スーダンPKO参加を正式に決定した。

2012年以降、先遣隊を含む第一陣200人を数次に分けて送り込み、その後本隊約300人を派兵すると報道されている。

野田政権は、「国造りのための国際貢献だ」と述べたが、スーダン内戦の泥沼化は、米国などの介入が大きな要因の一つである。1989年に成立したスーダンのバシール軍事政権を、米国は「イスラム原理主義のテロ支援国家」と見なして敵視した。

そこには石油資源支配の思惑もあった。中国も資源戦略からスーダンの軍事政権との関係を強化した。スーダンの内戦は、軍事政権に対する南北を貫く民主化の闘いという側面を持つものだったが、それが諸外国の介入によって「南北対立」へと一面化させられていくことになり、米国の強い後押しもあって南スーダンの独立へと帰結したのである。

自衛隊は、米国策に従い、米軍を後押しし、海外の軍事的プレゼンス強化と実績造りのために派遣される。自衛隊のPKO派兵に反対の声を防衛省へ!



**日 時**◎2012年1月29日(日) 午後2時集合／2時半デモ発

**集合場所**◎外濠公園 (JR市ヶ谷駅近くの交番裏手、お堀沿いの公園、地図参照)

**呼びかけ／主催**◎反安保実行委員会

〒101-0063 東京都千代田区淡路町 1-21-7 静和ビル2A TEL&FAX: 03-3254-5460

URL: <http://www.jca.apc.org/hananpojitsu/> E-mail: [hananpojitsu@jca.apc.org](mailto:hananpojitsu@jca.apc.org)

